

総合的な 学習の時間

実施時間
3時間

安全で快適な冬の過ごし方を知る!

ルール・マナー啓発ポスター 作成体験

学年・単元

3~6年:地域の安全を取り扱う内容の単元
3~6年:地域の生活の向上を取り扱う内容の単元

学習効果
UP
ポイント

- 地区センターや、まちづくりセンターに協力をいただくとうい。
- 誰に伝えるためのポスターなのかを考えて行うと相手立場を考える機会になる。
- 問題点をインタビュー活動等で情報を収集し、表現活動として生かすとよい。



1 背景と取組のねらい

札幌市では、雪対策に関わる課題として、除雪作業の妨げとなる迷惑駐車が依然として発生していることや、敷地内からの雪出しにより道路が狭くなること、つるつる路面における転倒が原因により毎年1,000人程が救急搬送されていることなどを抱えている。

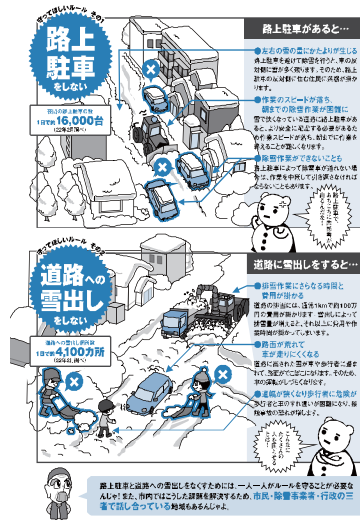
ねらい

- ① 「雪出し」や「路上駐車」、「砂まき」など、雪対策に関わる課題について、児童が啓発ポスターを作成することにより、児童に当該課題について意識付けをする
- ② 完成したポスターを掲出することで、父兄など第三者への啓発を行う

2 実施内容

(1) 準備するもの

- ・画用紙、筆記用具(鉛筆、ペンなど)
- ・ポスター作成に伴う参考資料



児童に配布する参考資料(例)

(2) 実施の流れ

作成前

・ポスターのテーマとなる「雪出し」や「路上駐車」、「砂まき」に関する内容について、児童に現在の状況や課題を説明する。

実施

・テーマに関連する資料(広報誌の写しなど)を児童に配布し、グループ又は個人でポスターを作成する。

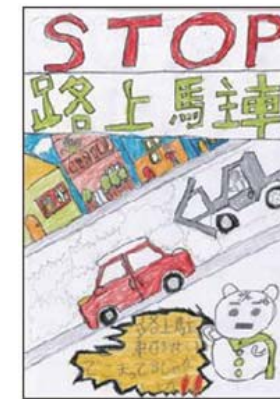
作成後

・完成したポスターは、教室の後ろや学校便りなど、第三者への啓発を行う。



授業風景

【完成ポスター】



- ・ポスターの完成の目安:2~3時間。
- ・ポスターの視認性を高めるため、文字や絵の輪郭については発色性の高いマジックなどを使用する。
- ・ポスターを校外に掲示する場合、ポスター作成前に近隣の商店や公共施設などへ掲示の依頼が必要になる。

オプションメニュー

ポスターのより効果的なPR方法

校区内の沿道店舗や区役所等の公共施設などへの掲示。

目的

ポスター作成を通じ、雪対策に関する知識を得る。また、課題に対する啓発をアウトプットすることから、より深く意識付けする。児童が描くことで、その訴えや気持ちを直接感じられるポスターになることから、通常の啓発ポスターよりも、大人への啓発効果を高める。

注意ポイント

- 児童の啓発ポスターをできるだけ多くの人に見てもらうためには、掲示方法を検討する必要がある。

掲示状況(校区内の沿道店舗)

